



ゆうあい

校長ブログ→



学校教育目標：『在りたい自分を創る主人公』

2026(R8)年 7月 17日
豊岡市立豊岡小学校 学校だより
No.6 児童数 297名

いのちと人権を大切に

- ◆ 1学期の教育活動は子ども達が、自分の良さや可能性を実感し、「在りたい自分を創る」主人公になることを目指してきました。成長のプロセスには、主体性や自制心、協働性などの非認知能力が、子どもたちの言動となって表れていた場面も多くありました。
- ◆ 学校で最も大切にされなければならないことは、子どもの安心安全です。つまり、子どもの「いのちと人権」が最上位目標として、日々の教育活動の隅々まで行き渡ることを目指し、全教職員全力で、子どもの安全安心の確保に取り組んできました。子どもたちの思いを聴き、いじめやトラブルもできるだけ早く見つけ、丁寧に対応し、子どもたちの安心を高められるよう取り組みました。
その際には、保護者の皆様のご理解とご協力をいただくことができました。ご家庭でも十分に配慮していただいているおかげで、落ち着いた学校生活を送ることができています。
- ◆ 子どもが最も強く影響を受けるのは、一番身近にいる保護者や家族です。普段の会話、態度、感じ方や考え方など、身近な大人が無意識に表現している言動が、子どもたちの育ちに強く影響しているの言うまでもありません。
学校で最も身近な大人は、担任教員や専科教員です。「潜在的カリキュラム」と言われる教職員が無意識に表現している言動も、子どもたちは学び取る可能性があります。教職員は、夏季休業中も多くの研修に参加し、自らも磨いていきます。家庭と学校で子どものことを語り合うことが、より深い子ども理解につながります。
- ◆ 1学期間、保護者の皆様と連絡を取り合い、対話を重ねる機会を創っていただきました。ありがとうございました。保護者の皆様が理解されている子どもの姿、教職員が理解している子どもの姿、どちらも本当の姿です。
『子どもをより深く理解する』そうしたゴールを共有しながら、保護者の皆様とは、今後も子どもの成長を応援する立場で、連携を密にしていきたいと考えています。
2学期もどうぞよろしくお願いいたします。

「自分と仲間のいのちを大切にしよう」

7月の児童集会で、本部役員から全校生に動画を使って呼びかけました。

- ① 黄帽子をかぶり、いのちを守ろう
- ② 右側歩行で、いのちを守ろう
- ③ 名前を呼んで、いのちを守ろう

具体的なシーンで、いのちを守る行動を教えてくださいました。豊岡小学校では、子どもが子どもを伸ばそうとする取組が、ずっと続いています。



～ボランティアの皆様ありがとうございます～

防犯ボランティアの皆様には、毎日子どもたちの登下校を見守ってくださいました。「元気なあいさつをもらって、こっちも元気になります。」「前よりもあいさつの声が出てきました。」など、うれしいお言葉もいただきます。まだまだ子どもたちのあいさつは不十分です。引き続き、元気よくあいさつできるよう、学校でも家庭でも指導し続けます。猛暑の中の活動、ありがとうございます。

図書ボランティアの皆様には、季節ごとに図書室を美しく飾り付けていただきました。また各学級への読み聞かせや、昼休みに図書室で読み聞かせをしていただくなど、子ども達と本の世界をつないでくださっています。夏休みも、子どもたちがすてきな本と出あうことを期待しています。

外国語ボランティアの皆様には、今から、ハロウィンやクリスマス会の話し合い、準備を進めていただいています。「どうしたら子どもたちが楽しんでくれるだろう」と、ボランティアさん自身も楽しみながら企画・準備を進めてくださっています。子ども達も毎年楽しみにしているイベントです。

豊岡小の子どもたちは、こうしたたくさんの保護者、地域のボランティアの皆様の愛着と熱意の中ですくすくと育っています。ありがとうございます。

【夏休み中の事故等の連絡先について】

夏季休業中に、児童の交通事故、入院等がありましたら、平日は学校までご連絡ください。土日などの緊急連絡先は市役所へお願いします。

★豊岡市役所 0796-23-1111（代表番号）

＊学校名、学年・学級、お名前、連絡先をお伝えください。折り返しご連絡を差し上げます。

★なお、不審者に「写真を撮られた」「声をかけられた」等の被害を子どもが訴えた時は、第一に把握した大人が豊岡警察署（0796-24-0110）へ通報してください。すぐに警察官が子どものもとへ向かい、事実確認をされます。不審者特定には速やかな通報が特に重要ですので、保護者、地域の皆様もご協力ください。